

1 はじめに

本校は、本年度で創立 150 周年の節目を迎えた。歴史と伝統を大切に、地域と共に歩む大久保小としていくため、年間を通して児童主体の児童会活動を行った。



2 資料

(1) 1 年生を迎える会

「1 年生が笑顔になり、誰かに学校のことを話したくなるような会にしよう！」というスローガンのもと、運営委員がアイディアを出し合い計画を立てた。学校の決まりをクイズで出したり、「あいさつ」の大切さをお話にして伝えたりするなど工夫をすることで、1 年生でも分かりやすく、楽しめる会にすることができた。

(2) 150 周年記念式典

創立 150 周年を祝う式典では、運営委員会が企画を行った。前例がない中で、はじめはどのような式典にしていくべきか話し合いが難航したが、本年度の学校目標である「あいさつ・思いやり・感謝」に立ち戻ることで、卒業生や保護者、地域の方々への「感謝」の気持ちを表すという方針を立てることができた。式典の軸が決まったことで、歴史を振り返る動画視聴、地域防犯パトロールの方をお呼びして感謝の言葉を伝えることなど、式典の内容もスムーズに決めることができた。

式典の中では、全校児童から地域の代表者に向けて、日頃の感謝を伝える呼びかけも行った。全校児童が関わる取り組みを入れることで、大久保小への愛校心を高めることができた。



(3) 人権集会

学校目標である「思いやり」の意識を高めるため、運営委員会で人権集会を催した。集会では、人権についての紙芝居を作成し、読み聞かせを行った。また、集会の感想を給食時の放送で読み上げることで、人権について考える機会を設けた。

(4) ICT を活用した委員会活動

各委員会で ICT を活用した活動を行っている。ポスターや文書の作成、アンケートの集計、情報の収集等での活用が多く見られた。特に foams を活用してのアンケート集約ができるようになったことで、児童の意見を吸い上げ、児童の主体的な活動につながった。

3 成果と課題

児童会活動では、児童自らが計画を立て、実行し、振り返ることで、自主的・実践的な態度を育んでいくことが重要である。だが、児童だけで全ての計画を立て実行することは困難である。特に今年度は創立 150 周年式典という、前例がない活動を計画する必要性が生じたが、学校目標を意識させることで、児童が計画を自分たちで立てることができた。今後も、児童主体の実践をしていく中で、学校目標を意識して活動させることが有効であると考ええる。